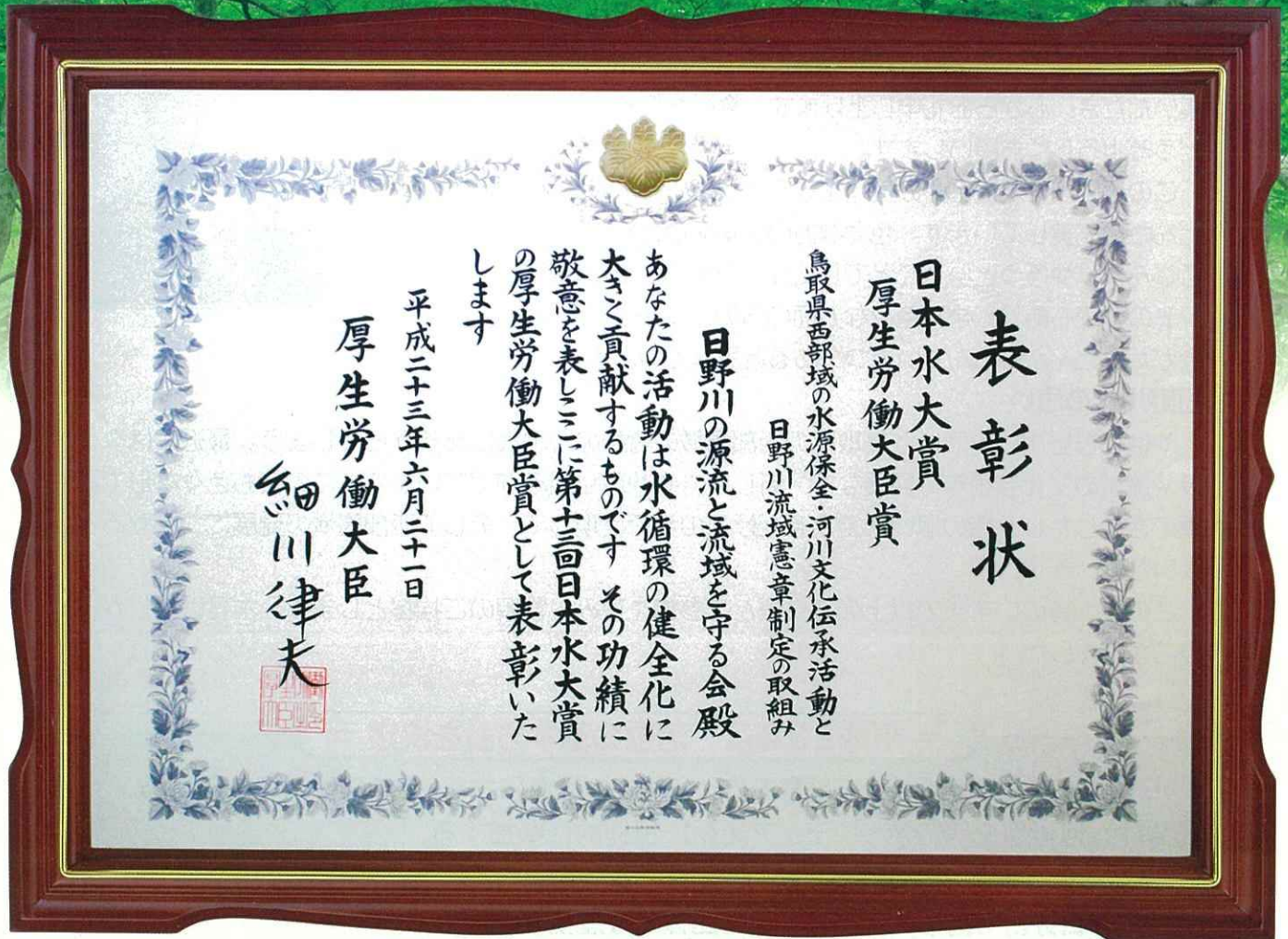


日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

=第19号=



目 次

- 2,3 平成23年度総会・講演会
- 4,5,6 第13回日本水大賞受賞 表彰式・活動発表
- 7 レポート 日吉津海岸クリーン作戦/募集 森と水に親しむ活動
- 8 これからのイベント・行事/会員の声/編集後記



日野川の源流と流域を守る会 平成23年度総会・講演会



2月24日(木)、米子コンベンションセンター

米子市末広町にある米子コンベンションセンターBiG SHIP小ホールで平成23年度の日野川の源流と流域を守る会総会・講演会を開催しました。また、「平成22年 日野川流域憲章記念事業 日野川フォトコンテスト」のグランプリと金賞受賞の方々の表彰を行いました。

会長あいさつ

活動の広がり

日野川の源流と流域を守る会の総会に、お忙しいにもかかわらず、ご参集いただき、心からお礼申し上げます。会長を仰せつかっている能勢です、どうぞよろしくお願いいたします。

この日野川の源流とその流域を守ろうということで、この会が発足して、だんだん充実しています。色々な方の参加をいただいていますし、初めはこじんまりやろうということでしたが、日野川にまつわる色々な形のイベントの要望もあり、また色々な方面の方のご支援やご要望もあって、この会がだんだんふくらんでいきつつあると思っています。

日野川への思い

やはり日野川への思いが鳥取県の西部圏域の皆様心の底にあるからでしょう。最近ではタタラや流域の文化芸術等の発展など、新しい方向や取り組みがでています。この会も色々な形で計画できましたし、皆の思いをできるだけこの会で実現して、そして西部圏域の発展につながるとよいと思います。

この会の皆のいままで以上のご支援とご参加を望み、冒頭のご挨拶とします。本日はありがとうございました。



= 平成23年度 活動の基本方針を決定 =

- 日野川の大切さを伝え、守り育てるという会の原点に立ち、その理念の輪を広げる。
- 森林・河川保全等のボランティア活動に積極的に参加する。
- 上流域と下流域の交流を活発にする。
- 大山・日野川・中海学協会等の活動団体との連携をふかめる。



▲熱心に聞き入る会員の皆さん



▲日野川フォトコンテスト表彰式

報告! 第13回 日本水大賞厚生労働大臣賞を受賞



安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目ざし、水循環の健全化に寄与することを目的として、第13回日本水大賞が実施されました。応募総数は157件もありましたが、日野川の源流と流域を守る会は厚生労働大臣賞を受賞しました。鳥取県内における大臣賞の受賞は初めてです。その表彰式が6月21日に行われ、受賞した15団体とともに式典に参加しました。

◇主 催

日本水大賞委員会(名誉総裁 秋篠宮文仁親王殿下、委員長 毛利 衛(日本科学未来館 館長))

◇受賞活動の名称

鳥取県西部域の水源保全・河川文化伝承活動と日野川源流憲章制定の取り組み

◇表彰式の日時及び場所等

日 時 6月21日(火) 午後1時から

場 所 東京都江東区青海2-3-6 日本科学未来館

表彰状受領者 日野川の源流と流域を守る会会長 能勢隆之(鳥取大学学長)

◇審査講評

「日本一の激ウマの水道水」と誇りを持つ米子市の水道局員が中心となって始めた活動は、日野川全体の一斉清掃や日野川最源流域での水源涵養林の取得から川にまつわる歴史や伝統文化の発掘・伝承へと広がり、「日野川の源流と流域を守る会」の設立に繋がります。そして、この会が自治体・行政機関、環境活動諸団体、企業などに広く呼びかけ、流域圏の産官学民33団体の賛同を得て、河川環境の保全や流域文化の伝承の理念を基として地域活性化をめざす「日野川流域憲章」への制定と発展します。この流域憲章のもとに、ボランティアによる源流水源林の保全、参加団体との共催による各種イベントの開催など、多彩な活動を展開しています。

水供給者が熱意と誇りをもって主導し、日野川流域圏の様々な主体の連携を実現して、水循環健全化の活動を進めていくことが高く評価されます。



▲式典参加者全員の記念写真



▲日本水大賞実行委員長 毛利挨拶

日本水大賞 活動発表

鳥取県西部域の水源保全・河川文化伝承活動と日野川流域憲章制定の取り組み

1 はじめに

1.1 日野川と私たちのかわり

日野川は、鳥取県西部を潤す一級河川です。北の河口部は日本海に、南は中国山地の三国山を源流とする全長約77キロメートルの鳥取県内最長の川です。流域約25万人もの生命や自然を育んでいるのです。

1.2 日野川の源流と流域を守る会の思い

「日野川の源流と流域を守る会」は、このような日野川流域の豊かな自然環境を守り、次世代を担う子どもたちに美しい日野川を引き継ぎ、日野川を日本一美しい川にすることを理念として、平成14年4月22日に誕生しました。



2 水を守る活動のはじまり

2.1 米子市のうごき

下流の米子市では、昭和40年代から上流域における市行造林事業の推進などの水源かん養関連施策が段階的に実施されてきました。

2.2 米子市水道局のうごき

米子市・境港市などにおいしい水を供給する米子市水道局では、平成元年から「日野川クリーン作戦」として河川敷の清掃活動を毎年実施されています。また、平成9年には日野川最源流域に約100haの水源かん養林を取得されました。

3 日野川流域憲章制定への取り組み

3.1 制定に向けて

大山・日野川流域圏の豊かな自然から育まれる水環境や水資源の重要性を再認識することが必要になってきました。河川環境保全はもとより川にまつわる歴史や伝統文化を流域住民へ広め、次の世代へ引き継いでいくための理念を求める声次第に高まってきました。これを受けて、当会や河川環境・文化啓発活動団体が中心となって「日野川流域憲章」制定を流域圏諸団体に呼び掛けました。

そして、平成20年6月に日野川流域憲章制定実行委員会（委員長 能勢隆之鳥取大学長）が結成され、制定への歩みを着実に進めました。流域圏の関係行政機関や環境活動団体、民間企業等の多くの賛同を得ることができました。平成20年8月23日になって、産官学民33団体の協働と連携の成果として、日野川流域憲章の制定を実現することができたのです。

3.2 日野川流域憲章制定実行委員会への参加団体

【団体】日野川の源流と流域を守る会、王子製紙（株）米子工場、サントリー天然水（株）奥大山ブナの森工場、西部土地改良区、大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会、大山・日野川・中海学協会、（社）中国建設弘済会、Dオスポーツ、（社）鳥取県建設業協会西部支部、（社）鳥取県建設業協会日野支部、（社）鳥取県測量設計協議会、鳥取日野森林組合、日野川水系漁業協同組合、米川土地改良区、米子カヌークラブ、箕蚊屋土地改良区、米子市尚徳公民館

【行政】鳥取県日野総合事務所、鳥取県西部総合事務所、国土交通省日野川河川事務所、鳥取県企業局西部事務所、米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、江府町、日野町、日南町、米子市水道局

【個人】2名

3.3 日野川流域憲章

「日野川流域憲章」

【理念】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日 日野川流域憲章制定実行委員会

3.4 盛大な記念式典

日野川流域憲章制定記念式典は、平成20年8月23日午前10時に伯耆町宇代の「鬼の館」で盛大におこなわれました。式典には、関係行政機関や流域小中学校、住民代表などの約250人が出席しました。

主催者を代表し、大山・日野川・中海学協会副会長があいさつされ、米子市水道事業管理者が憲章制定の経過について説明されました。多彩な関連イベントも開催され、式典を盛りあげました。

4 活動の広がり

4.1 日野川への住民の思い

憲章制定にあたって流域住民におこなわれた日野川への思いや期待などについてのアンケートでは、600件近い意見や声が寄せられ、大きな反響となりました。流域住民の日野川への関心の高さや広がりが明確になりました。

また、日野川流域憲章制定についての報道機関による報道や行政広報誌等を通じて、日野川ブランドを広く発信でき、日野川の大切さをよりいっそう広めることができました。

4.2 その後の取り組み

日野川流域憲章制定後、「日野川流域憲章情報連絡会」が組織されました。そこでは環境保全や流域活性化、地域伝統文化の振興といった活動を流域圏の団体が協働して実施していくための意見交換や情報発信が積極的におこなわれています。流域圏の団体が憲章の理念にそった河川環境保全啓発や流域の文化伝承活動を軸とする活動を展開されています。

4.3 川を守る活動の広がり

水資源や水環境保全、河川文化の普及・伝承に努めている他の団体の活動も、点から線へといった連携が多くみられるようになっていきます。河川環境や郷土の伝統文化を守り、次世代に引き継ぐという日野川流域憲章制定の効果が着実にあらわれてきつつあります。

5 おわりに

日野川の源流と流域を守る会は、企業や団体、行政機関、学術組織そして多くの市民の方々に支えられながら、活動を続けてまいりました。これからも日野川流域憲章の精神にのっとり、日野川流域憲章理念の普及活動を通じて、水資源や水環境の保全、流域文化の伝承をはかり、鳥取県西部域全体の活性化をも視野にいれ、水と心が豊かなふるさとづくりをすすめます。皆さまとの連携をよりいっそう深め、幅広い活動を続けたいと考えております。

(出展：「第13回日本水大賞 受賞活動集 平成23年6月 日本水大賞委員会」 より)

レポート

日吉津海岸クリーン作戦 (平成23年8月28日)

日吉津海岸クリーン作戦実行委員会が主催される美しい日野川の最下流となる日吉津海岸を清掃するボランティア活動に参加しました。約600名の参加者が清掃に汗を流しました。以前より少なくなつたとはいえ、たくさんのゴミが集まりました。



たくさんの人が集まった



みんなできれいに!



家族で参加



たくさんのゴミが集まった



きれいになった美しい日吉津海岸

募集中!

平成23年度 森と水に親しむ活動を支援します

※会員が自主企画する活動を求めます

ご相談ください!

ふるさと日野川の源流と流域の自然環境や日野川と関わる生活文化を守り育てていくことの大切さを体験し理解いただくため、森や水（水辺）に親しみ学ぶ活動について支援しています。

◇ 支援の対象となる活動：

- ・日野川及びその流域の森で行われる森や水に親しみ学ぶ活動やイベント
- ・森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが盛り込まれた活動

◇ 支援対象となる会員：

- ・個人会員：概ね10人以上が参加する事業で会員の参加が全体の2分の1以上
- ・法人会員：概ね10人以上が参加する事業

◇ 支援対象となる経費：借上料、資機材購入費、講師謝金・旅費などが支援対象

◇ 支援額：1団体当たり7万円が支援限度

※詳細は事務局にご相談ください。

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1 鳥取県日野総合事務所 県民局内

日野川の源流と流域を守る会 事務局（担当 林原）

電話 (0859)72-2085 ファクシミリ (0859)72-2072

案内 平成23年度 これからのイベント・行事

時 期	イベント名	内 容	場 所
10月16日(日)	地域の自然を守る活動	セイタカアワダチソウなど地域の自然を阻害する外来植物の除去活動に参加します。活動終了後に、鏡ヶ成高原の自然に関する観察会をします。	江府町御机
10月22日(土)	奥大山古道探訪	牛馬の売買などで大山寺を参拝する多くの人で賑わった奥大山古道を散策します。地元のおもてなしや下蚊屋神楽を楽しむことができます。	江府町御机 ～下蚊屋
12月下旬	会報「ひのがわ」発行	会の活動や日野川源流と流域の保全などについて情報提供・意見交換します。	流域一円
2月	総会・講演会	平成24年の会の活動方針等について協議します。日野川流域に係る話題を内容とする講演会も予定しています。	米子市 (予定)

○イベント内容については、変更する場合があります。

○イベントの詳細や参加申し込み方法については、募集の都度ご案内します。

会員の声

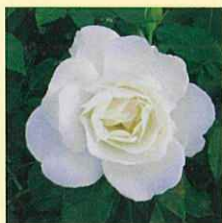
会員の皆さんから寄せられたご意見やご要望をご紹介します

野外イベントとして、浅い溪流や低い滝を登る会を開催してはどうでしょうか。また、富士山でやっているように、山の頂上に太陽が昇るダイヤモンド大山は、いつどこで見られるかなど調査してはどうでしょうか？

……ご意見ありがとうございます。かなりの大冒険になりますね。日野川や自然を十分に楽しめそうです。一緒に企画したいですね。(事務局)

編集後記

ちょっとした編集子のつぶやきです



★このたび当会は、第13回日本水大賞厚生労働大臣賞受賞という大きな名誉をいただきました。厳かな表彰式にも参加させていただき、貴重な体験となりました。表彰式後の活動事例発表では、全国からの式典出席者の方々に、恵み豊かな日野川のすばらしさや日野川流域憲章、日野川の源流と流域を守る会の活動状況などについて、ビジュアル的に紹介をさせていただきました。日本水大賞のご期待に応えるため、会員の皆さんも日野川流域憲章の

理念を生かした活動を継続して参りましょう。水は重要な資源です。日本一おいしい水の恩恵を享受されている皆さんの主体的な活動が隆盛となることを祈念します。

★会員の皆さまのご感想やアイデア、情報などをお寄せください。会員のコミュニケーション誌となるべく、ひろく皆さんのご意見等を掲載させていただきます。(編集子)